

# 平成28年第2回(6月)大郷町議会定例会一般質問通告書

## 目 録

1. 石垣 正博 議員
  - 1) 認知症対策の強化を
  
2. 高橋 重信 議員
  - 1) 住民バス事業の現状は
  - 2) 集中している土取り場、災害対策は大丈夫か
  - 3) 山中希望の丘線の住民に対する説明会はどうなっているのか
  
3. 佐藤 千加雄議員
  - 1) 定住促進と企業誘致について
  - 2) 町の市街地整備、工業団地の造成について
  - 3) 観光の振興について
  
4. 千葉 勇治 議員
  - 1) 太陽光発電施設設置の現状と今後のあり方について
  - 2) 町道「山中希望の丘線」について
  - 3) 幼児教育の充実について
  
5. 赤間 茂幸 議員
  - 1) 安全安心な防災体制の強化について
  
6. 大友 三男 議員
  - 1) 東北放射光施設について
  - 2) 平成28年3月10日に発生した住民バスの重大事故について
  - 3) 町道及び生活道路の整備計画並びに安全対策について
  
7. 和賀 直義 議員
  - 1) 高齢者福祉計画について
  - 2) 未舗装の町道・生活道路の整備について

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 認知症対策の強化を</p> <p>認知症高齢者による列車事故で、家族に損害賠償が求められる事件があった。このことは、その家族と鉄道会社だけの問題ではなく、社会全体の問題である。</p> <p>なぜならば、長寿社会の中で、今後高齢化が急速に進み同様のケースが発生することを危惧するからである。</p> <p>本町においても、認知症・介護はもはや家族だけの問題ではなく、町を挙げて取り組まなければならない大きな課題の一つである。</p> <p>本町は、認知症対策として、どのような取り組みを考えているのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 住民バス事業の現状は</p> <p>住民バス事業が平成 27 年 4 月 (株) おおさと地域振興公社から (有) アスカ観光バスへ委託先が移行されて 1 年が経過した。移行時には、人件費、車両整備等の理由により前年より約 500 万円の増額予算で委託された。</p> <p>「安全安心な住民バスの運行」という所期の目標は達成されているか。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 集中している土取り場、災害対策は大丈夫か</p> <p>川内・東成田地区において、集中的に土取り場となり開発が進んでいるが、集中豪雨時の対策、マニュアル化はされているのか所見を伺う。</p>	
<p>3. 山中希望の丘線の住民に対する説明会はどうなっているのか</p> <p>山中希望の丘線の住民に対する説明会はどうなったのか、説明を求める。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 定住促進と企業誘致について</p> <p>大郷町が活力ある地域社会の実現を図るため「まち・ひと・しごと創生『人口ビジョン』及び『総合戦略』」が策定されました。「総合計画」「マスタープラン」3つの総合計画が整合性を図りながら進められていくと思います。町ではそれらの計画がよりスピーディーで実行性のあるものにするため、定住促進策や企業誘致推進業務の一元化を図る目的でまちづくり推進課を新設しました。町の「未来を創り 育てるまち おおさと」の実現に向け、さまざまな情報を取り入れながら進めていかなければなりません。改めて『総合戦略』の定住促進に向けた施策の現状と目標、また企業誘致の現状と目標を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 町の市街地整備、工業団地の造成について</p> <p>町の市街地整備の現状と課題として、離農者が増え遊休化が進み、生産性が見込めない農地が増えて市街地形成に必要な土地の確保が難しくなる恐れがあります。民間活力による宅地開発を進めるなど、土地の計画的な有効活用を進めるためにも、市街地整備、市街化調整区域の整備をする必要があると考えるが、町長の所見を伺う。</p> <p>また、町の主要施策には、地域特性に配慮した、周辺の環境と調和した住宅地や商業地、工業地の整備・誘導を図るとあります。しかしながら現在町で紹介できる用地は、川内流通工業団地の1区画と大松沢中学校跡地だけとなっています。民間企業の誘致を図るうえで、用地がないということは、いくら優良企業が誘致を考えても前には進まない状況であり、早急に用地を確保することが必要と考えます。そこで現在候補地の選定計画はあるのか、また工業団地の造成計画はあるのか、またどの程度進んでいるか伺う。</p>	
<p>3. 観光の振興について</p> <p>町の総合計画に観光産業推進体制を確立する必要があるとあります。観光拠点となる「物産館」の周辺整備について、観光客増加に備えて、また交流人口の増加のためにも周辺用地を購入し、駐車場の増設を図る必要があると考えるが、町長の所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 太陽光発電施設設置の現状と今後のあり方について</p> <p>① 町内における法人等による太陽光発電施設のこれまでの誘致の設置状況と今後誘致が予測される施設について、それぞれの面積、能力等を伺う。</p> <p>② 施設が大郷町総合計画・都市計画プラン・国土利用計画等との整合性について、どのような検討がなされているのか。</p> <p>③ 設置により懸念される次の点について町の所見を伺う。</p> <p>(1) 優良農地など農地の保全対策。</p> <p>(2) 乱開発の規制（自然景観・農業用水確保・二次災害防止・環境破壊防止対策）</p> <p>(3) 定住化構想など住環境整備を進めていく上での影響。</p> <p>(4) 太陽光パネルの有害性、反射光、発熱など健康への影響。</p> <p>(5) 情報開示並びに、事業計画の周知徹底で地元住民との合意形成。</p> <p>④ ③の懸念を払拭する観点から、先進地に学び太陽光発電施設設置に係る何らかの規制を設けるべきと考えるが、見解を求める。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 町道「山中希望の丘線」について</p> <p>① 周辺の区長並びに住民に対する説明会の結果について</p> <p>② 6月に予定されている、地区懇談会に提示する町道建設の内容について</p>	
<p>3. 幼児教育の充実について</p> <p>大郷町立幼稚園の入園資格について、隣接自治体で取り組み始めている満3歳からの受け入れ態勢について本町でも検討する時期にきていると考えるが所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 安全安心な防災体制の強化について</p> <p>1. 役場機能が喪失した場合の対応について</p> <p>熊本地震、東日本大震災のように災害等で役場がその機能を失った場合、直後の災害対策だけでなく、戸籍や住民登録等行政の基本となる重要な情報を失い、その復旧には非常に困難を伴うことが明らかである。すでに重要な情報のバックアップ体制を各市町村と連携していると思うが、町内にも本庁舎以外にいざという場合、拠点となる施設が必要であると思う。いずれも、費用がかかることであるが、着実に整備しなければならないことだと思うので、町長は今後どのように整備を進めようとお考えか伺う。</p> <p>2. 災害弱者への対応について</p> <p>災害時に高齢者、乳幼児、障害者等、自ら避難できない、いわゆる災害弱者をどのように支援していくかというマニュアルが必要であると思う。</p> <p>まず、本町では、災害時の避難に支援が必要な方を把握されているのかどうか伺う。</p> <p>水害などでは、ただ避難の指示をするだけでは、家にいれば助かったのに、避難しようとして逆に水に流されたり、避難途中で土砂崩れにあったりということもあり、特に災害弱者については、十分に支援の措置をとらなければならないと思う。また、避難施設も、一般の方々とは違う、ある程度整った施設でなければならないと思うが、避難支援の方針、避難施設の整備状況について伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 東北放射光施設について</p> <p>3月議会で、つくばKEK（高エネルギー加速器研究機構）での放射性廃棄物が出るというデータを提示したうえで、「放射性廃棄物の持込拒否に関する条例に放射光施設が抵触するのではないか」との質問に対し、このデータに関しては専門家でないので即答できないが、確認すると言っていました、その後のつくばKEKの放射性廃棄物データに対して町の見解を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 平成28年3月10日に発生した住民バスの重大事故について</p> <p>今回の住民バスの事故は、相手方の過失による事故との町長の説明がありましたが、事故状況について明確な説明、及び町の対応、指定管理者（(有)アスカ観光バス）の対応について伺う。</p>	
<p>3. 町道及び生活道路の整備計画並びに安全対策について</p> <p>(1) 未舗装生活道路の現状と今後の整備計画について 未舗装生活道路で穴が空き、雨が降る度に水溜りができている箇所がいたる所にあり、歩行するのが大変との町民からの声が聞かれるが、今後の対応について伺う。</p> <p>(2) 通学路及び生活道路の歩行者の安全対策状況について 現在町内全域で道路幅員が狭いという理由で、歩道のない町道（生活道路）や通学路が多く、早急に子供達や町民の方々の歩行時の安全対策が必要と考えるが、今後の対応について伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 高齢者福祉計画について</p> <p>町の実態調査（希望する生き方）で、「いつまでも家族といっしょに暮らす」が68%、「不安のない安心できる生活を送る」が37%、「地域の人たちと関わりをもって暮らす」が36%の結果になっている。増加する一方の社会保障費、不足する介護の担い手の高齢化社会にあって、高齢者が住み慣れた地域でできるだけ自立した生活を送るためには、地域の様々な人の見守りや支援が必要です。以下伺う。</p> <p>① 要支援1・2の訪問、通所介護サービスが平成29年3月までに新総合事業で実施するとなっているが、課題と対応策は。</p> <p>② 個別課題の支援やネットワークづくりを行う「地域ケア会議」の取り組み状況と課題は何か。</p> <p>③ 元気な高齢者が活躍できる介護ボランティアポイント制度の導入はどうか。</p> <p>④ 認知症高齢者を支えるケアの進捗状況は。</p> <p>⑤ 介護予防事業の取り組み状況について</p> <p>⑥ 社会福祉協議会に地域包括支援センターを設置した効果はどうか。</p> <p>⑦ 6期計画が1年経過したが、介護保険の運営状況の分析は。（7期計画の保険料の見込み）</p> <p>⑧ 特別養護老人ホームの待機者数とその減少のための方策は。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 未舗装の町道・生活道路の整備について</p> <p>町道・生活道路の舗装、改良の要望が多いが、いつ実現するのか明確でない。次の点について伺う。</p> <p>① 現在、舗装要望の路線はどれ位あるのか。</p> <p>② 何を基準にして優先順を決定しているのか。</p> <p>③ 簡易舗装をすることによって改良整備が早まるのでは。</p> <p>④ 年次計画を作成し、例えば5年で実施する計画を公表することにより住民に希望を持たせることができると考えるが。</p> <p>⑤ 敷砂利の希望があるが、大雨の場合、他人の敷地に流失する。流失しない方法はないのか。</p>	